

「農福連携」の充実を図るため、関係機関との交流を構築

「ひろしま農福連携情報交換会」構成組織の情報共有と相互理解を深め農福連携の輪を広げる

○ 施策分類

農福連携

○ きっかけ・背景、課題の把握

- ・「農福連携」については、その対象である障害者・高齢者・触法者との関わりが皆無である事等から、拠点としては関係団体が実施するセミナーやイベントへの参加など受動的な取組にとどまっていた。
- ・このため、県内にて障害者等と関わりがある行政機関と情報交換の場を構築し、各機関の取組・課題などを共有することとした。

○ 取組の内容

- ・県拠点から、中国矯正管区、広島保護観察所、中国四国厚生局、広島県（農林水産局、健康福祉局、教育委員会）に参加を呼びかけ、1月13日「第一回ひろしま農福連携情報交換会」を開催。
- ・関係機関の施策やそれぞれが抱える課題について情報を共有し、障害者等の就農支援について意見交換を実施。

○ 効果・成果、今後の方向性

- ・引き続き、定期的に情報交換会を開催するとともに、参加した行政機関以外の関係団体の参加についても検討、実務的な就農支援のきっかけづくりとすることを確認。
- ・情報交換会終了後、構成組織からのイベントの開催案内や、県拠点が主催する農業者との交流会（農を取りまく情報交流の広場）への参加など、新たな交流が始まっている。



意見交換の様子



課題や情報の共有

体制図

ひろしま農福連携情報交換会

- ・広島県
- ・中国四国厚生局
- ・中国矯正管区
- ・広島保護観察所
- ・中国四国農政局広島県拠点
(必要に応じて関係団体に参加呼びかけ)

【情報の共有・活用】
・農福連携に関するイベント、表彰事業や補助事業を共有し、関心のある事業者などに紹介

【就農支援】
・農福連携の広がり
・マッチングのきっかけづくり